

第 15 回 パートナーの状態は？

音が近いので、だんだん暖かい日が増えてくるようになりましたが、それによってみなさんのボールにも変化が出てくるように感じています。

今までは気温自体が低かったせいで、ボールに吸い込んでいたオイルが表面まで出てこないで内部に溜まったままでした。

しかし、このちよつとした暖かさによって、今までメンテナンスを怠っていた方のボールの大半が、何もしていないのに表面にオイルがにじみ出てきてしまっているのです。

本来ボールの表面にオイルを出すためには、50℃くらいまで温めてあげることが必要なのですが、ちよつと暖かくなっただけで出てくるというのは、もうボールとしては限界を超えています。しっかりとメンテナンスをしていた方のボールは、この程度の気温の変化では表面に何にもできてきていないはずですよ。

正直、ここまですると相当のG数を投げているはずなので、消耗品であるボールは買い替え時期であると言えます。

このボールを使って今のオイルコンディションで投げると、オイルが前回よりも多くなっているためまず曲がりません。

かろうじて曲がってもグリップできず、ピンに弾かれてしまいうい10ピンが残る確率が大きく上がってしまうので、ストライク率は大幅に下がることが目に見えてわかります。

一度みなさん、ご自身のボールを指で撫でてみてください。

吸いつくような感覚と、キュッキュと音がなる状態なら問題なくお使いいただける状態です。

しかし、そうでない場合、ヌルヌルする状態、滑って音が出ない状態ならばなんかとしないとダメですね。

てっとり早いのはオイル抜きですが、これは限界まで吸ってしまったボールには1回やっただけでは効果が薄く、何回もやる必要がでてきます。

そのため100Gに1回はオイル抜きをしたほうがいいという風に言われているのです。

それでもまずは1回オイル抜きをしましょう。そしてさらに表面加工を必ず一緒に行ってください。

それだけ吸ったボールの表面は、溝の無いタイヤで雨の中走っている車と同じくらい滑ります。

オイル抜きと表面加工は一緒にやることで相乗効果が増し、曲がりに繋がります。

少し音はなりますが、新品を買うまでのつなぎとして、今あるボールを大切にしてあげてください。

<筆者>



歳をこよなく愛し
猫に愛されたい
とあるボウラー

<好きなもの>
にゃんこ

ぶ。ろ。し。よ。っ。ぶ。っ。し。ん